特定非営利活動法人

要約筆記 高知・やまもも No. 231

8月

発行　平成30年7月26日

活動拠点雑感

理事　　小笠原文香

耐震化による建替中の県立塩見記念青少年プラザが６月に開所。やまももが入居した一室は、入り口と北側の窓は全面ガラス張り。真っ白な壁にじゅうたんが敷き詰められた床。部屋に入ると、建替前の小津教室を思い出した。初めて訪れた人は誰もが入り口がわからず迷ったのではないだろうか。私もそうだった。どこから入ればいいのかと。やっと見つけて部屋に入ると、給湯、物置、トイレが完備されており使い勝手抜群。セキュリティーはあったが自由に出入りができ、休日、仕事帰りにと、ことあるごとに利用した。助成金をいただき、やまももの活動紹介の動画を作るときの打ち合わせも小津教室だった。要約筆記を、やまももの活動をたくさんの人に知ってもらいたいという思いが一杯。だが予算は少額。私達の思い入れが多い分、担当者に理解してもらうのに時間がかかった。動画作成も撮影の撮り直しをお願いするなど迷惑をおかけしたがいいものができた。また会場内で死角を作らない情報保障をしてみたいと取組んだ助成金もあった。そのためにパソコンメンバーを集めての遠隔情報保障のレクチャーも小津教室だった。企画担当はとてもアバウトな計画を立てて、いける！大丈夫！と進めて行くのだが、それでも仲間が実現に向け支援してくれる。遠隔情報保障のときもレクチャーする人、その説明を受けセッティングができるようにする人など対応してくれて本当に心強かった。そういう思い出もある小津教室だった。

最後に、塩見記念青少年プラザを私たちは勉強会を開催していたため「小津教室」と呼んでいたが、この度、「小津教室」改め新しく「塩見」と呼ぶことになった。新たな歴史のスタートに会員でいられることに感謝するとともに、聞こえの不自由な方々の活動拠点として「塩見」を有効的に活用していきたい。

やまもも会員
８月現在 62 名
（内 賛助会員４名）

＜要約筆記 高知・やまもも　の できごと＞

平成18年 （2006）	・高知県委託事業　　要約筆記奉仕員養成講座開講 ・派遣数　63 件（含　養成講座講師派遣） ・かたつむり国語教室支援 ・公益信託こうち NPO 地域社会づくりファンド事業 ・会長　山崎千加

ホームページ　http://yamamomo-kochi.sakura.ne.jp/
☎　090-7572-0855　Fax　088-840-2117　E-Mail　mienpa.4.5-25.mienpa@galaxy.ocn.ne.jp
Twitter　@youyaku_y　/　Facebook　youyaku.y　/　Instagram　youyaku.y

****

高知県立塩見青少年プラザ開所式 ・
平成30年度 要約筆記者養成講座開講中 ！

****

高知県立塩見記念青少年プラザオープン　　廣田美子・松村滋子

６月１７日、高知県立塩見記念青少年プラザのオープンセレモに一にやまももを代表して出席した。平成２８年から根無し草状態であった我々には待望のオープンだ。改築期間、ろう学校、高知県聴覚障害者情報センター、高知市障害者福祉センターの３団体様には荷物を置かせていただくなど大変お世話になった。オープニングは県立小津高校吹奏楽部の若々しく見事な演奏で始まり、地元小津地区の方々、利用者等が大勢参加し尾﨑知事や関係する方々のテープカットで開所。後、入居団体の各部屋で説明の機会があり知事や三石県議も４階の我がやまももの部屋を訪ねてくださり、知事からは平素の活動への労いの、三石議員からは励ましの言葉を頂戴した。

その中で参加者の一人と思われる年配の女性に「どうすれば、このように部屋が借りられるか。私たちも入居したいのに・・」と訊かれ、これまでの経過をはしょって説明するも納得のいかない様子だった。様子から入居先を探している団体であろうと推測すると同時に、私たちは入居できていることに感謝し活動の拠点として有意義に使用しなければならないと考えた。部屋の前には大先輩であり元会長の正岡邦子さんから贈られたアンスリュームの鉢植えが良い雰囲気で坐っていた。

いつも心にかけてくださりありがとうございます。教室は建物の４階。大いに利用しましょう。

****

要約筆記者をめざして　　受講生　　森 田 保 夫

私が要約筆記士の講習を知ったのは昨年４月の県の広報誌さんＳＵＮ高知でした。すぐに「やまもも」に電話をし、講習日程表を送ってもらいました。残念ながらすべて土曜日開催のため、デイサービス勤務の私は休日を取ることが出来ず断念しました。

今年４月土佐市広報に日曜日開催の募集があり、すぐ申込させてもらい受講の機会をいただきました。開講日、多勢の参加者に驚き又男性が僅か３人とは残念です。無事出席率を確保し、来年２月の検定試験合格をめざしがんばります。よろしくご指導ご鞭撻の程お願いします。

****

要約筆記講座　　受講生　　門 田 沙 弓

実際に受講してみて、要約筆記の目的やなぜ要約筆記が大切であるのかという根拠を学ぶことができたことに加え、聴覚の仕組みや聴覚障害についてなどの基本的なことを学ぶことができました。特に、要約筆記をすることによって、聴覚障害者の方などの知る権利を保障していることを学び、自分たちの要約筆記が情報を得る手段として成り立っているという責任の重さや、権利保障の一端を担っていることを自覚しておかなくてはならないと気が引き締まり、より一層要約筆記に対しての気持ちが強くなりました。今後も学び続ける上で、聴覚障害者の方にとってより良い要約筆記が提供できるように励んでいきたいと思います。

＜みな様へ　お願い＞

①30 年度会費の入金がまだの方は振込みをお願いします。

②住所、緊急連絡先等に変更のあった方は
管理・小倉までご連絡をお願いします。

TEL 088-856-8457 ・ FAX 088-845-2585
Mail ogura_annko_0207@yahoo.co.jp

人・ヒト・ひと

横顔 20

廣田美子　さん

★やまももの屋台骨。彼女の周りはいつもやけに明るい。物事はすごいスピードで片付いていく。「前が切れる」という表現がぴったり。かつては「仁淀のコスモス」とも言われた仁淀小町も今は人情味あふれる草花愛ずる姫。彼女の草花の話は天下一品！ファンもいるはず。

■**入会年は？**／体の具合が悪くなり定年まで１１年を残し退職。社会から取り残された感じがあり入会。

■**趣味は？**／工夫をした簡単な料理をすること。読書や縫い物もする。

■**嫌いなことは？**／筋の通らないこと。

■**習慣**／一日のスケジュールは決めたように動きたい。

■**理想のタイプ**／まじめで優しい主人のような人(???・・・今朝ケンカは別)

■**いけないと思いつつやってしまうことは？**　／いらないことに口を出すこと。

■**自分の性格は？**／性格はその時によって変わると最近気がついた。今はずいぶん気長になって人の話も聞くことができだした。

★次回もお楽しみに

読書

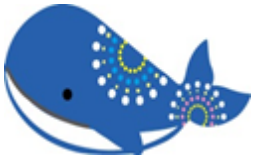
『実用四字熟語新辞典』　**高橋書店編集部編**

平岡加代子

ある時、日本語検定を受けようと、四字熟語辞典を手に取りました。なんという数の多さ（上記辞典は 945 語）。知らない言葉がいっぱいで暗記するのは即、諦めましたが、眺めているうち面白い読み物だと気づきました。漢字ひと文字にこんな意味があるのかと驚いたり、どうしてこの四字熟語がそういう意味になるの？と首をかしげたり。そして好きな四字熟語との出会いも。例えば【雲烟過眼＝雲や煙がたちまち目の前をよぎっていくように長く心に留めないこと。物事に深く執着しない気持ちや態度。無欲の境地】。いろんな言葉で遊ぶ時間が作れます。

掲示板

敬称略



◆現任研修第３回目
８月１８日(土)　９：30～12：30
会場；高知市障害者福祉センター
講師：筒井典子　氏
(人・みらい研究所)
演題：チーム・ビルディング

◆＜曜会からのお知らせ＞
木曜会は、都合により８月いっぱい
木曜でない曜日に開催しています。
ご迷惑をかけますが、ご了承ください。
担当

Amazon でのお買い物は　⇒　やまものホームページ Amazon アソシエイトから。※購入金額の一部が広告宣伝費として Amazon からやまももに支払われ、活動費となります。※購入金額に宣伝費が追加されることはありません。

30年８月　活動予定			
日・曜	会　合　名	時　間	場　所
4日（土）	理事例会	10：00～12：00	障害者福祉センター
5日（日）	開館記念講演２	14：00～15：30	オーテピア
5日（日）	要約筆記者養成講座　第12回	9：30～12：30	障害者福祉センター
5日（日）	要約筆記者養成講座　第13回	13：30～16：30	障害者福祉センター
15日（水）	木曜会	10：00～12：00	障害者福祉センター
18日（土）	要約筆記者現任研修 第３回	9：30～12：30	障害者福祉センター
19日（日）	要約筆記者養成講座　第14回	9：30～12：30	障害者福祉センター
19日（日）	要約筆記者養成講座　第15回	13：30～16：30	障害者福祉センター
22日（水）	木曜会	10：00～12：00	障害者福祉センター
25日（土）	土曜会	10：00～12：00	障害者福祉センター
26日（日）	要約筆記者養成講座　第16回	9：30～12：30	障害者福祉センター
29日（水）	木曜会	10：00～12：00	障害者福祉センター
30年７月　　活動追加			
日・曜	会　合　名	時　間	場　所
6日（金）	ふれあい体験学習　　（派遣取消）	13：30～15：20	介良中学校
7日（土）	難聴者・中途失聴者のための手話教室④（派遣取消）	10：00～11：30	小高坂更生センター
8日（日）	要約筆記者養成講座　第９回　中止	9：30～12：30	障害者福祉センター
11日（水）	ふれあい体験学習	10：55～12：45	愛宕中学校
11日（水）	「差別をなくす」から「手をつなぐ」	19：00～20：30	土佐市防災センター
14日（土）	ノートテイク		
16日（月）	ノートテイク		
21日（土）	難聴者・中途失聴者のための手話教室⑤	10：00～11：30	小高坂更生センター
23日（月）	中央西広域身体障害者連合会		

《まっこと》■今、私はある力が湧き上がり漲っている。先日、お風呂の洗剤が少なくなったので補充した。途中で変な臭いがするのでラベルを見ると何とトイレの洗剤。逆ならトイレで使用できるが仕方ないと捨てた。“えっ”なのだ。何と捨てたのはトイレの洗剤。しょうがないのでミックス洗剤も捨ててしまった。結局２本のスプレーの洗剤が空っぽになった。ミックス洗剤はトイレで使用すればよかったのに。最近こんなことは日常茶飯事。今、私にはこんな老人力が漲っている。（美）■近くの水路で記憶を覆す光景を見た。澄んだ流れに水藻ゆれ、白い小さな花が咲き乱れている。これは清流に咲く「桜花藻」ではないか。この間まで濁った流れの泥中に灰色の鷺が怒ったように突っ立っていた。この変身は何！梅花藻とすれば花言葉は「幸福になります」いや、なっている。この風景保ちますようにと願った。ところが、３日後には花の中に塵が捨てられて幸福感は打ち砕かれた。（善）■左手首を痛めた。右利きの私は料理の間、鍋や重い鉄のフライパンも左で持つ。皿を洗うのも左で支え右手を動かす。痛めて初めて左手は多くの事をし、力仕事の負担は大きいと気付いた。長い間の酷使を労わっているつもりが無意識だと痛いと叫びたくなることをする。何でも失くして初めてそのありがたさを知るというが、痛めただけでまこと納得である。（滋）■西日本豪雨災害被災者の声。避難勧告という言葉そのものがピンとこなかった。「逃げろ！」と言ってもらう方がわかりやすいとか避難指示の放送が豪雨で聞こえなかったなどという声があった。伝えることは難しい。（三）